



日本学術会議 材料工学委員会・環境学委員会・総合工学委員会合同
SDGs のための資源・材料の循環使用検討分科会 主催

なぜ SDGs? ~資源・材料循環における SDGs とカーボンニュートラル~

東京大学 生産技術研究所 コンベンションホール
+ オンライン配信

■ 日 程: 2022 年 11 月 18 日(金) 14:00~18:00

■ 開催会場: 東京大学 生産技術研究所 An 棟 2F コンベンションホール
<https://www.iis.u-tokyo.ac.jp/ja/access/> (東京大学生産技術研究所内)

■ 主 催: 日本学術会議 材料工学委員会・環境学委員会・総合工学委員会合同
SDGs のための資源・材料の循環使用検討分科会

■ 共 催: 東京大学 生産技術研究所 非鉄金属資源循環工学寄付研究部門 (JX 金属寄付ユニット)、東京大学 生産技術研究所 持続型材料エネルギーインテグレーション研究センター

■ 後 援: 東京大学 レアメタル研究会、早稲田大学 持続的環境エネルギー社会共創研究機構、日本鋳業協会、早稲田大学 循環バリューチェーンコンソーシアム、(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構、(一社)資源・素材学会、(公社)化学工学会、(一社)環境資源工学会、資源地質学会、(公社)日本金属学会、(一社)軽金属学会、(公社)日本化学会、(一社)日本鉄鋼協会、(株)鋳業新聞社、(株)産業新聞社、(株)セメント新聞社、(株)鉄鋼新聞社、(株)日本砕石新聞社 (予定)

■ 開催内容: 資源材料循環は、SDGs の目標 12「つくる責任つかう責任」に密接に関係している。昨今のカーボンニュートラル政策においても、一層重要視されており、社会システム的にも技術的にも変革が求められている。資源循環に対する課題は物質ごとに大きく異なるが、本シンポジウムでは、特に蓄電池などに使用される金属資源の循環に関して、その現状と課題を俯瞰し、市民と共に理想的な資源材料循環のあり方を議論する場としたい。講演や討論会は、オンライン配信を行う。

■ オンライン配信 URL:

Zoom ウェビナー: https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_8E3yBo_IQ3uxguNnRLkYZw

YouTube: <https://www.youtube.com/watch?v=ykWv5Vu9XsU>



Zoom ウェビナー



YouTube

■ プログラム :

司会 : 所 千晴
日本学術会議 第三部会員、早稲田大学・東京大学 教授

14:00~

開会の挨拶 : 岡部 徹
日本学術会議 第三部連携会員、東京大学 生産技術研究所 所長・教授

法政策からみたサーキュラーエコノミー (45分)

大塚 直 日本学術会議 第一部会員、早稲田大学 教授

EUをはじめとしてサーキュラーエコノミーに対する仕組みづくりが先行する中、法政策の立場から日本としてどのような仕組みづくりが求められるのかについてご講演をお願いしている。

カーボンニュートラルと資源循環の両立の重要性と難しさ (45分)

森口 祐一 日本学術会議 第三部連携会員、国立環境研究所 理事

世界的にカーボンニュートラル政策がすすめられる中、本来、経済成長とはデカップリングすべきである資源消費とこれに伴う環境影響が今以上に増加することが懸念されているが、その考え方と打開策の方向性についてご講演をお願いしている。

蓄電池のサステナビリティ検討に対する取り組み (45分)

武尾 伸隆 経済産業省 電池産業室 室長

カーボンニュートラルと資源循環の両立に対する重要なデバイスの1つである蓄電池に対して、国を中心に検討されているサステナビリティに対する考え方と方向性についてご講演をお願いしている。

17:00~

パネルディスカッション

パネラー :

森部 昌一 株式会社三菱総合研究所 サステナビリティ本部
環境イノベーショングループリーダー

森田 一樹 日本学術会議 第三部連携会員、東京大学 教授

ならびに講演者

ファシリテーター : 所 千晴
日本学術会議 第三部会員、早稲田大学・東京大学 教授

17:50~

閉会の挨拶 : 笹木 圭子
日本学術会議 第三部連携会員、九州大学 教授

シンポジウム特設ウェブページ : <https://www.scj.go.jp/ja/event/2022/331-s-1118.html>

問合せ : 早稲田大学 教授 所 千晴
tokoro@waseda.jp